

# 伊藤 ゆきひろの ちょっとタイム



便り <No.124号> 2021年 7月1日 発行

## ごあいさつ

街の緑の影が豊かに色濃くなりました。コロナ禍に揺れたオリンピックですが、本市でも23日開会式に向け、友好都市のカナダバスケットボール女子チームのホストタウンとして、準備に尽力中です。

第5波も懸念される現況を押しての大会が、実りあるものとなることを祈るのみです。

さて 昨年実施された国勢調査速報値が先日公表されました。日本の人口は5年前の調査に続き減少。10月1日時点で1億2,622万人、前回の調査値から86万人減少し、結果0.7%の減少率となりました。

幸い本市は 2.8%増の4,161人に上り 県内3番目の増加数を示す嬉しい結果でしたが、昨年5月以降微減傾向が続き、ここにもコロナ禍における外国人の入国制限によるものか転入者の減少、出生数の落ち込みなど様々な影響がみられ、今後この人口減少克服が本市の発展に大きく左右することは確実です。

人口移動は経済そのもの、アフターコロナを見据え、生活・人生の糧となる、地域経済活性化のための具体策を検討・提案を急いで、住み続けたい・魅力あるまちづくりを目指して参りたいと思います。



刈谷市議会議員



【事務所】	
刈谷市一里山町金山100番地 (トヨタ車体労働組合内)	
Tel	0566-36-3870
Fax	0566-36-6272
E-mail	itou@bwcom.or.jp
HPアドレス	http://y110.jimdo.com



## 歳時記

7月 2日 (金) 半夏生

7日 (水) 小暑・七夕

22日 (木・祝) 海の日・大暑

23日 (金・祝) スポーツの日  
オリンピック開会式

28日 (水) 土用の丑の日

コロナワクチン接種が順調に始まり、日常にささやかな潤いが戻りつつある中、ついにオリンピック開催月となりました。様々な議論や環境と闘いながら、今日まで懸命に力を尽された選手や関係者に精一杯のエールを送りたいと思います。

## 6月のフットワーク

### 令和3年6月 刈谷市議会 定例会報告

6月 定例会 議案等 審議結果	報告 案件	単行 議案	条例 議案	予算 議案	請願	意見書	委員会 議題
	7件	4件	2件	2件	4件	3件	1件
	—	原案可決			採択 1件 不採択 3件	不採択	—

6/10 ~6/14	本会議 (一般質問)
6/16 ~6/21	各種常任委員会 予算審査分科会
6/25	予算審査 特別委員会
6/28	本会議 (議案採決)

### ◆ 主な議事内容

- 1) 一般質問 ・ 15名の議員が登場：コロナワクチン接種・住宅耐震化・刈谷駅のリニューアルスポーツ振興・スマートインターチェンジ・低炭素化施策・教育行政 等
- 2) 議案審議 ・ みなくる広場条例の一部改正 ⇒ 刈谷駅南北の広場を一体化し、条例名を「刈谷駅周辺地区広場条例」に改名。 使用料設定も半日から3時間単位に変更。
  - ・ 訴えの提起について ⇒ 市営住宅の家賃滞納者及び前新田排水機場居住賃借修了者に住居の明け渡しおよび家賃の支払いを求めるもの。
  - ・ 刈谷市手数料条例の一部改正 ⇒ 個人番号カード発行の手数料徴収は、地方公共団体機構が市町村に委託できる法律改正により、市の手数料条例から削除。
- 3) 請 願 ・ 「ゼロカーボン達成に向けた取組みの推進に関する請願」…採択
  - ・ 「消費税率5%への引き下げを国に意見書の提出を求める請願」…不採択 等
- 4) 意見書 ・ 「消費税インボイス制度実施の中止を求める意見書(案)」…不採択
  - ・ 「LGBT(性的少数者)平等法の制定を求める意見書(案)」…不採択 等
- 5) 議 題 ・ さくら保育園北園舎の一時活用終了について
  - ⇒ 令和4年4月に重原幼児園跡地に民間保育園が開設されるため。

### 6) 令和3年度6月補正予算(第2号・第3号)

#### ◎ 新型コロナウイルス感染症対策関連事業

- ・ 自治会活動支援事業(新規) 684万円
- ・ 文化芸術団体育成事業(拡充) 40万円
- ・ 貸出閲覧管理事業(拡充) 310万円
- ・ 学校保健振興事業(拡充) 3,480万円
- ・ 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金事業(新規) 1,526万円
- ・ 子育て世帯生活支援特別給付金支援事業(拡充) 16,005万円
- ・ 総合型地域スポーツクラブ育成事業(拡充) 120万円
- ・ 芸術・文化関係開催 支援事業(拡充) 142万円
- ・ 新生児おむつ臨時助成事業(新規) 847万円
- ・ 市民館オンライン化推進事業(新規) 324万円

(単位:百万円)

会計名	補正前	補正額	補正後予算
一般会計	59,825	317	60,142
特別会計	23,390	0	23,390
企業会計	10,626	0	10,626
合計	93,841	317	94,158

コロナ対策  
推進中



- ◎ コロナ関連事業以外 … 産業イノベーション推進事業(新規) 900万円 等

# 6月のフットワーク

前頁からの続き ... 6月議会での私の一般質問と委員会質問の要約

## 6月11日 本会議 一般質問「低炭素なまちづくりの施策について」(抜粋)

**Q** 国のカーボンニュートラル方針によって、本市も2030年度のCO2排出削減目標を、早期に26%から46%に変更すべきだが、進め方や具体的な施策をどう考えているか。

**A** 地球温暖化問題は、国や県と足並みを揃えて進めることが肝要。国は現在、地域脱炭素ロードマップの策定作業を進めており、その動向の情報収集に努め、今後の対応について検討していく。

**刈谷市のCO2排出削減の状況推移**

2013年: 1,481千t  
2014年: 1,413千t  
2015年: 1,364千t  
2016年: 1,359千t  
2017年: 1,355千t

2014年: 68.0千t  
2015年: 49.0千t  
2016年: 5.0千t  
2017年: 4.0千t

削減量が鈍化

現状の成行(推測) 1,300千t(12%減)  
現状の削減目標 1,096千t(26%減)  
新たな削減目標 800千t(46%減)

あむ9年後

**Q** 2050年、ゼロカーボンシティに向けた市の思いは。

**A** 地球温暖化問題による気候変動は深刻な事態と認識。本市はこれまで「環境都市アクションプラン」や「緑の基本計画」によって、低炭素なまちづくりを推進してきた。今後も、この美しい地球環境を未来に引き継げるよう、この問題に真摯に向き合い迅速かつ柔軟に対応し、2050年カーボンニュートラルの実現を目指していく。

## 6月16日 企画総務委員会 所管質疑「要配慮者利用施設の浸水対応について」(抜粋)

**Q** 本市が今年4月に改訂した水害ハザードマップ(千年に一度の降水確率)において、浸水区域に立地する要配慮者利用施設の件数と利用者への浸水想定に対する説明状況は。

**A** 浸水想定区域に24施設が立地。施設管理者には、避難確保計画の策定と訓練の実施および利用者への安全確保を要請済、利用者と家族には施設側より説明し共有されている。

**要望** 避難確保計画の作成は現時点で19施設が未策定とのことだが、早急に計画策定の要請を強め、計画に基づく訓練から課題を洗い出し対策を構する指導を行なうこと。



東京2020オリンピック・パラリンピック、ホストタウンin刈谷  
バスケットボール女子カナダ代表チームが刈谷で事前キャンプ

- ▶ 日程: 2021年7月5日(月)~18日(日) 14日間
- ▶ 練習場所: 刈谷総合運動公園 ウィングアリーナ刈谷
- ※ 期間中、ウィングアリーナ刈谷については、コロナ感染症対策確保のため利用および立ち入りもできません。(但し、通常利用の予約等の受付窓口のみ開設)
- ▶ 選手団との交流: 小中学校バスケットボール部とのオンライン交流・刈谷市及び日本文化の紹介・練習風景の動画配信等
- <選手及び関係者には、ワクチン・PCR検査・移動行動などコロナ感染対策を徹底し実施する>



# 伊藤ゆきひろの ちょっと情報 !!



## 刈谷 良いトコ ♪



遡ること240年程前、江戸時代中後期の天明年間、西尾藩主・土井利徳が刈谷藩に国替えとなった時、藩士の子弟教育のため作られた藩校跡です。さて、ここはどこでしょう？



6/1発行の<No.123>の答えは、東境町の刈谷市富士松図書館でした。1984年、刈谷市役所富士松支所の跡地に開館。美しいカキツバタと約8万冊もの蔵書が根強いファンを集めます。

## 'オリンピック'への招待☆

パンデミックにより一年延期された東京オリンピックでしたが、ようやく開幕まで3週間余りとなりました。指折り数えるスポーツファンも多いことでしょう。近代オリンピックの記念すべき第1回大会は、1896年古代オリンピック発祥の地であるギリシャはアテネで開催され、欧米先進国の14か国が参加しました。日本の初出場はそれより少し遅れ、1912年第5回ストックホルム大会からです。古代オリンピックはアポロンの神託により始まったと伝えられ、聖火やメダルデザインに勝利の女神ニケが使われるなど、ギリシャ神話が今も息づいています。ローマ帝国でキリスト教が公認されると、それまでの神々への崇拜は誤りとされたため、ギリシャで約1200年に巨り神々に捧げられたスポーツ競技大会も禁止されましたが、15世紀になるとイタリアから、ギリシャやローマ文化の再評価が始まり、ヨーロッパ中に広がりました。これこそ「ルネサンス(古代復興)」です。そして19世紀、ギリシャのスポーツ競技大会は近代オリンピックとして復活、スポーツを通じ文化や国籍の違いを超え平和な世界を目指すため、今日では全世界から200か国もの国々が参加、正々堂々競い 世界平和の願いが体現されます。

## 7月の行事予定

- 7月 6日(火)・13日(火) トヨタ車体労組職場委員長会議 市政報告
- 8日(木)・15日(木) トヨタ車体労組 ぐらしの相談
- 12日(月) 市民クラブ会派リモート視察
- 27日(火) 全ト地方議員連絡会情報交換会
- 28日(水) 2022年度当初予算会派要望(市長へ提出)

“まじめにコツコツ、即行動”頑張ります!!

